

空飛ぶランタン祭り

in 市川三郷町

202

空飛ぶランタン祭りin市川三郷町

実行委員会

A person is seen from behind, holding a large, glowing paper lantern. The lantern is made of a textured material, likely paper, and is illuminated from within by a flame. The person is holding the bottom of the lantern, which is a circular metal frame with a flame inside. The background is a sunset sky with warm orange and yellow tones. Another smaller lantern is visible in the upper left corner of the frame.

空飛ぶランタンとは

LEDライトを入れたヘリウム風船を
和紙で覆ったもの

火災の危険がなく
環境に優しい。

実施スケジュール

11月8日（火）皆既月食

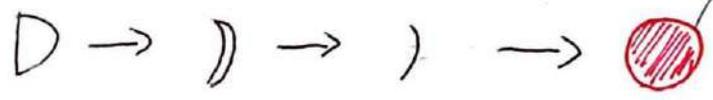
- 16：30 開場
- 17：00 開会のあいさつ
- 17：05 青洲高校 オープニングステージ
- 17：30 夢を語る時間、活動報告動画
- ～18：30 車を適宜移動
- 18：30 ランタン配布開始
- 19：16 皆既月食開始
- 19：30 ランタン打ち上げ
- 20：00 花火によるグランドフィナーレ



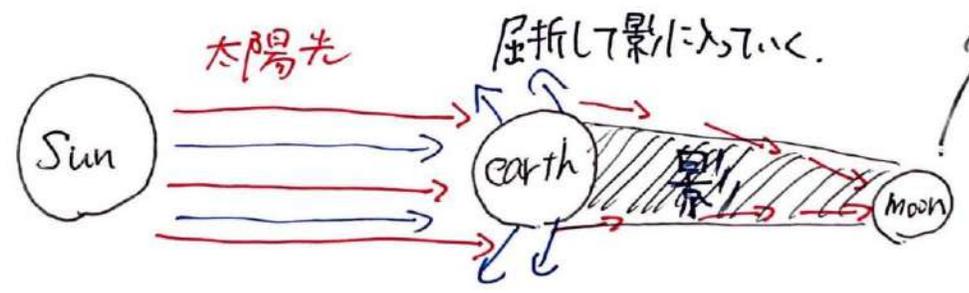
2. なぜ皆既月食の日に行くのか？

☆I かき月食、月

レクエ
赤銅色



夕日と同じ現象.



この並びは満月.
影に入ることから
レクエ.
月は地球に
から.

青い光は散乱しやすい。

月まで届かず、地球の上広がる → 空は青い。

皆既月食の新解釈

一度は影に覆われても、光に包まれる



混沌とした今の情勢



一条の希望を見出す

希望とは風雨の夜に早くも朝糸をさす

未来を生きる人々は今の時代を
「影に覆われていた時代」というかもしれません

脅かされる平穏
失われる大切な時間
消えていく尊い命

でもどんなに影を落としていても
希望の光まで覆い尽くすことはできません

なぜなら希望は
「日暗い世界に宿る、一条の光」だから

皆既月食は月が地球の影に覆われてしまう現象です
しかし、影に覆われていても暗闇になることはありません
太陽光が地球の影をも通り越し
月を照らすためです

完全な暗闇などありません
今がどんなに暗く、混沌としていても大丈夫
光はもう、すぐそばまで来ています

私たちの希望をランタンに託して
届け未来へ
届け光が私たちのもとに

市川和紙

- ・ 美人の素肌のように美しいことから肌吉紙（はだよしがみ）と呼ばれる
- ・ 1000年を超える歴史
- ・ 武田氏、徳川氏の御用紙だった
- ・ 障子紙の全国シェア1位

しかし、障子文化は年々衰退…

1980年、日本における障子の生産量は約6,000 t



2014年、生産量は約1,850 t

およそ
7割減

市川和紙の伝統継承のためには

障子紙に代わる新たな市川和紙の新商品が必要！

タイのランタン

油脂を塗った和紙に炎を灯し空へ打ち上げる



火災の危険性、環境破壊



今あるスカイランタン

風船の周りを薄く、大きな和紙に包み、LEDライトを灯す



炎を使わないので火災の心配はないが、打ち上げた後は廃棄物になる



環境破壊にはつながっている！

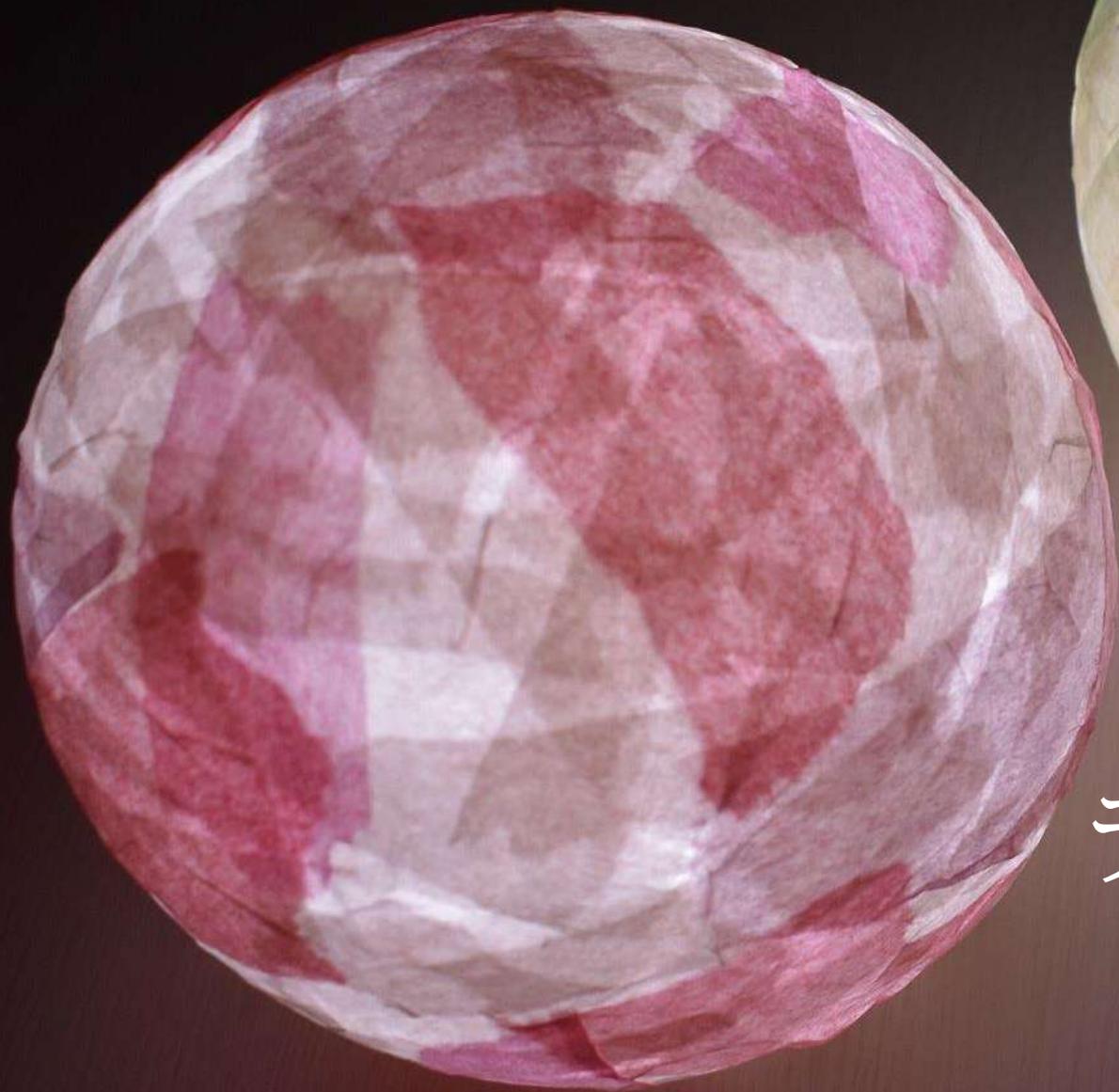
人に優しい、地球にやさしい。

SDGs的空飛ぶランタン





空を旅したランタンは、イベント終了後に



ランプシェードに

SDGsの観点からも空飛ぶランタンは環境に優しい

